

事業所名 ゆにこーんハート（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和8年

4月

1日

法人（事業所）理念		ゆにこーんグループでは「輝け未来へ 子どもたち」をスローガンに、子どもたちの未来に生き抜く力を育てていきます。						
支援方針		アセスメントを定期的実施し、根拠のある支援を実施する。 また、一人ひとりの個性に合わせた支援の提供を通じて、子どもたちが成長できるように、ともに歩んでいきます。						
営業時間		9時	15分	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	日々の子どもの様子の観察、体調管理をこまめに行っている。また、担任・こども園関係者と情報共有を行いながら、こどもが元気に活動ができるようサポート日付や時計の読み方など、生活に不可欠な概念を歌のリズムに乗せて楽しみながら習得し、自立した生活へつなげる。 お休みをした日の療育は可能な限り、振り替えを実施し、療育機会の保証を行っている。						
	運動・感覚	音楽療育を用いて、こども一人ひとりのアセスメントを実施している。 音、触覚、動きなどの多感覚を同時に刺激し、自身の身体の位置や動かし方を脳が正確に処理できるようにサポートする。 リズムに合わせて体を動かすことで発語を促し、情緒の安定や思考力、表現力の向上を支援している。						
	認知・行動	こども一人ひとりのアセスメントを実施している。 こども一人ひとりの興味関心・課題を整理し、「ちょっと頑張ればできるもの」から「自信をもってできる」につなげるための活動を取り入れている。 楽しい雰囲気の中で「言葉」と「意味」を一致させ、情緒の安定や、他者とのコミュニケーション能力向上をサポートする。						
	言語 コミュニケーション	ことば音楽療法（個別療育）を用いて、こども一人ひとりに合わせた療育を実施している。 言葉だけでなく、こどもが自分の思いを伝えることができるよう、個別・小集団指導の中で姿勢・ジェスチャーなども取り入れている。 日常語をリズムやメロディーに乗せて歌うことで、1音節の発語から段階的に言葉を覚えることを支援する。						
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルトレーニングを行い、指導に当たる職員と関係性を築けるよう、アットホームな環境を提供している。ことば音楽療法（個別療育）においては、療法士とのやりとり、関りの中で他の人との関わり方や協調する必要性などを肌で感じられるような環境をつくり、ソーシャルスキルの獲得を促す。個別療育から小集団に繋げ、こどもがのびのびと自己表現できる場を提供している。また、活動を通して、ルールやマナーなどを個人の課題によって指導している。						
家族支援	希望に応じ見学を実施。保護者が療育の様子を観察し、日々の成長の様子を児童発達支援管理責任者から報告する。また、日々の指導記録を文書で保護者に報告している。必要に応じて、きょうだい児についての相談にも応じる。	移行支援	小学校や支援学校への移行に向けて、各関係機関との連携と情報共有をし、支援体制の構築の調整支援をする。					
地域支援・地域連携	担任等関係者との情報共有を定期的に行い、ゆにこーんハートで身に着けた力を在籍級で発揮できるよう、関係者との連携を大切にしている。	職員の質の向上	定期的に教育・障害・衛生など、職員の質の向上のため研修を実施している。また、支援会議等も行いそれぞれに合った支援ができるようにしている。					
主な行事等	活動の中で、季節にちなんだ遊び（こどもの日や七夕、夏祭り、クリスマスなど）を活動や制作活動に取り入れている。長期休暇では、近隣の公園へ行き身体を動かして遊んだり、夏には水遊び等も取り入れて感性や興味を引き出すことを実施している。 また、毎月避難・防災訓練を実施し、職員・こどもともに有事の際に速やかに安全を確保できるよう努めている。 保護者会も行い、家での様子や困りごとなどを話せる場を設けるように取り入れている。							